

大阪公立大学  
現代システム科学域

2024 年度 学力試験問題 小論文

ユ	ネ	ス	コ	ス	ク	ー	ル	特別選抜
ス	ー	パ	ー	サイ	エ	ン	ス	ハイ
ス	ク	ー	ル	特別選抜				
帰		国		生		徒		特別選抜

2023 年 11 月 23 日

**注意**

1. 問題冊子 1 部(表紙を含め 8 枚)と解答用紙 3 枚、下書き用紙 1 枚があります。試験開始の合図後、ただちに枚数を確認してください。
2. 試験開始後、解答用紙の所定の欄のすべてに受験番号を記入してください。
3. 解答は、解答用紙の所定の箇所に記入してください。
4. 定められた字数には、句読点も 1 字として数えます。
5. 解答時間は 90 分です。
6. 試験終了後は、解答用紙を回収します。(問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。)

問題1 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著  
作  
権  
の  
関  
係  
に  
よ  
り  
公  
表  
し  
ま  
せ  
ん

出典： 矢作弘・阿部大輔・服部圭郎・G.コッターラ・M.ボルザーニ 2020『コロナで都市は変わるか 欧米からの報告』学芸出版社：128-141。ただし、出題にあたり、文章および図を改めた箇所がある。

問 1 下線部 (1) はどのような状態を指しているか。本文の内容に即して 150 字以内で説明しなさい。

問 2 下線部 (1) の状態を踏まえるとともに、コンパクトシティ論との相違点に触れながら、15 分コミュニティ論の特徴を本文の内容に即して 300 字以内で説明しなさい。

問 3 図 1 をもとに、本文中の ( a ) および ( b ) に入る適切な数字を書き入れなさい。また、図 2 を説明する下記の文章について、括弧内に適切な数字を書き入れなさい。なお、その際小数点以下一桁を四捨五入し、整数とすること。

「徒歩 15 分」で暮らしの基本ニーズを満たせる地区の平均的な都市機能として、  
商  
店  
は全体の ( c ) % である。また、カフェ・レストランは全体の ( d ) %、  
食  
料品店は全体の ( e ) % であることが分かる。

問 4 本文におけるミラノとパリの 15 分コミュニティに関する取り組みを踏まえて、以下の①～⑤から正しいものを 2 つ選びなさい。

- ① ミラノでは、リモートワーキングの普及に努めており、職住近接のコミュニティづくりは推奨していない
- ② ミラノ、パリともに幹線道路の車線を廃止し、プロムナードや自転車道に転換し、15 分コミュニティづくりにつなげる
- ③ パリには、まちづくりの準公社があり、地区の活性化につなげるプログラムを促進する
- ④ ミラノでは、校庭の緑化を進め、学校などの施設については、常に住民に開放し、諸施設の複合利用を促進する
- ⑤ パリの 15 分コミュニティには、「市民キオスク」を置き、市職員が常駐してコミュニティ活動の支援などを行う